



MONTHLY NEWS

# 京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2017  
11月号  
No.—511

## 岡本神草の時代展

と き／11月1日(水)～12月10日(日) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都国立近代美術館(月曜休館)

京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

京都市立絵画専門学校(現京都芸大)の卒業制作〈口紅〉が、厳密な審査で知られている第1回国画創作協会展(1918年)に入選し、一躍新進美人画家として注目されるようになった岡本神草(1894-1933)。

遅筆で有名だった神草は、翌年の第2回国展には作品が間に合わず、1920(大正9)年の第3回国展にようやく〈拳を打てる3人の舞妓の習作〉を出品したが、全体が完成せず、作品を切断して一部分(拳を打てる舞妓の中央部分)のみを発表したのである。切断された残りの部分が1987(昭和62)に遺族の元で発見され、出品作と切断された残りの部分とが合体され、当時大きく報道された。昭和に入ってから、かつてのように官能性を前面に押し出すのではなく、そこはかとなく女性美そのものを漂わせるような作風に移り、38歳の若さで急逝したことが惜しまれる。

画家にとって初の大規模回顧展となる本展は、数少ない本画を可能な限り集め、素描、下図、資料類100点ほどを加えて画業を紹介するとともに、甲斐庄楠音など同時代に競い合った作家達の作品も展示し、神草芸術の全貌だけでなく、時代性と特異性を知ることのできる展覧会である。



「拳を打てる3人の舞妓」  
1920(大正9)年 第3回国展  
(京都国立近代美術館蔵)

## 木島櫻谷・近代動物画の冒険

泉屋博古館(10月28日～12月3日)

京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 ☎075-771-6411

## 京の至宝と文化「木島櫻谷の世界」

京都文化博物館3F(10月28日～12月24日)

京都市中京区高倉三条 ☎075-222-0888

明治から昭和にかけて活躍した日本画家木島櫻谷(1877-1938)の生誕140年を記念する展覧会が開催されている。明治後半から大正期にかけて文展の花形として活躍の画業の中で、最も高く評価されているのが動物画である。どこかものいいかげで、優しい眼差し一驚、獅子から鹿や猫まで一櫻谷の描く動物たちに共通する特徴である。それは徹底した写生を基礎に、卓越した技術と独自の感性により創造された生命一精緻な動物の表情は気品にあふれ、今なお人を惹き付けてやまない。近年画室の奥から発見された文展の幻の出品作〈かりくら〉(1910年)が修復後初公開される他、代表作〈寒月〉(1912年 京都市美術館蔵)などが並ぶ泉屋博古館。一方京都文化博物館に於いては、櫻谷の生家(三条室町)近くの旧家・大橋家から新たに発見され、京都府に寄贈された作品群を中心に様々な作品が並ぶ。なお期間中の毎週末の金、土、日に木島櫻谷旧邸(北区等持院東町56 問合せ先: 櫻谷文庫075-461-9395)が特別公開される。



「かりくら」明治43年 第4回文展

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	木島櫻谷の世界																														→12/24
		祇園祭-伯牙山の名宝-																														→1/14
	3F	ウッドワン美術館コレクション																														→12/3
	4F	絵画の愉しみ、画家のたぐらみ-日本近代絵画との出会い-																														
	5F	「ラブリート100 デザイン」出版記念 石井麻子のニットアート展		第51回 心象書展					モラ・刺繍・ビーズ 生命の樹					第29回 工芸美術創工会展					貸展示室(5F/洋室・150㎡×4室・6F/和室・畳敷70畳×3室、45畳×1室)のご相談は 京都文化博物館企画事業担当(075-222-0895)までお気軽にご相談ください。													
	6F	第35回 京仏具 四人会展		第3回 京都府 高等学校総合文化祭 学生入賞 1位かたる部門					吉田手織工房 京都教室 緑織会 第6回作品展					第55回 龍門 社選抜書道展					演委 会		山本万里 書作展											
別館	イベ 講演 会		音楽 会		音楽 会		講演 会		音楽 会		音楽 会		イベ ント		アトリエエンジェル・ステンドグラス展					JIA京都地域会 建築家展					貴久樹 天竺展		→12/6					
京都学・歴彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	池大雅展(前期) (祝日休廊)										池大雅展(後期) (祝日休廊)																				→12/10	

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 12/1																														
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		岡本神草の時代 (月曜休館)																														→12/10
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		開館120周年記念 特別展覧会「国宝」(月曜休館)																														
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館。日展京都展は12月・1月に別館で開催いたします。)																														
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	別館	第36回 汎具象展	第36回ザ・スペース展 70周年記念展・第44回 創画展		第85回 独立展			第51回 女流陶芸公募展			第35回 楽書会書展 LA VOZ 23rd 展		→12/3																			
	1F	ハクの会作家展 (日本画・洋画・工芸)	ファミ展 (洋画・写真)		7人の絵画展 (洋画)			光風会 京都作家展 (洋画・版画)			大洋展 (洋画)		→12/3																			
	2F	創元会 京都支部展 (洋画)	○9 南瓜絵画展 (日本画)		日本面美会 第46回 新作能面展			光風会 京都作家展 (洋画・版画)																								
3F			祐の会 (日本画)		← やってよかったペン習字… 第9回習作展 (書)																											
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		当館はリニューアル工事のため、2017年1月から2018年春頃まで休館いたします。 開館日は決まり次第、お知らせいたします。																														
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		手の思想・近藤高弘展 (月曜休館)																														
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	WANDERING SCENE 池口史子展 (洋画)	青洲会 日本画展 - 標 - 四代徳田八十吉展 (陶芸)		黒岩知里 現代 (いま) を描く 福本双紅展 - ゆくかた - (陶芸)			絵筆を持って50年 プライアン・ウィリアム ズ展 (洋画)			白寿記念 - 気・遊 - 鈴木竹柏展 (日本画)		→12/5																			
	グランド ホール			いけばなの根源・ 池坊展 平成29年度旧七夕会 池坊全国華道展																												
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	八木明 陶展	ロジェ・ボナフェ絵画展		曾根茂 油彩画展			L I F E 今井完眞 陶展			箔画 野口琢郎展		→12/5																			
	アート サロン	松田重仁 彫刻展 水の祈り	命 燦爛たる 青木秀明 日本画展		木村巳奈子・楠本景子 陶 二人展			山本真澄 日本画展 地のもの 天のもの			陶 いとたのしみ たり展2		→12/5																			
	ミュージアム																															
中信美術館 上京区下立売池小路東入 417-2323		石本正 裸婦素描展 ~ヴィーナスを求めて~ (月曜休館)																														→12/10
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展 - 京都七宝の時代 -																														→12/17
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		ミュシャ展 ~運命の女たち~																														

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 12/1																															
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	加藤雅晴展 (平面)			加藤雅晴展 (平面)			第41回 サンデーサークル展 (平面)			ジバン具 vol.10 (日本画)			第2回草創 (平面・立体) 京都フォーシーズン フォトクラブ		→12/4																	
2F	アトリエドガ作品展 (平面)			早川元観作陶展						扇子展					→12/4																		
アーツスペース虹 三条蔵上都ホテル隣 761-9238		吉岡千尋		白杵春芳展 「漆山プロジェクトⅢ」		金サジ展 (月曜休廊)						南新也展		→12/3																			
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122		日本画四人展 - 生動 -		「302」京都造形芸術大学 青木ゼミ生による展覧会 - 千古不磨 (日本美術)		松井周子日本画展 - 風の未来 -			京都市立芸術大学日本画 川島渉研究室修了生展 権 - kai -			谷野剛史展 日本画		→12/3																			
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		木になるアート作品展 (月曜休廊)																															
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		うつわ男子 猪飼祐一・小川宣之 川尻潤・森里龍生		うつわ男子 河井亮輝・清水大介 谷口良孝・中村謙司		うつわ男子 井上路久・高木竜太 竹村陽太郎・山内駿		うつわ男子 出品者全員																									
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		Rui展		切り絵・細密画・シャドー ボックス・写真で見る… 京のまつり文化展			おんげ姉妹展 早水喜代乃 (陶)・伊藤治代 (墨彩)			画工 殿村栄一 まあるい心展			→12/3																				
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372																																日野田崇個展 (陶芸)	→12/23
芸州堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版本「北斎漫画」出版記念展															木版画常設展																
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展																															
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552		水野幸一・みずのみさ EXHIBITION (陶磁器・ガラス) (木曜休廊)			休廊		高田志保展 (陶芸) (木曜休廊)						→12/5																				
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083		洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他																															
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																															
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																															

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

[今月の展覧会より]

## 日下部直起展 ～夢の跡～

と き／10月31日(火)～11月5日(日) 12:00～7:00PM  
ところ／ギャラリーヒルゲート  
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

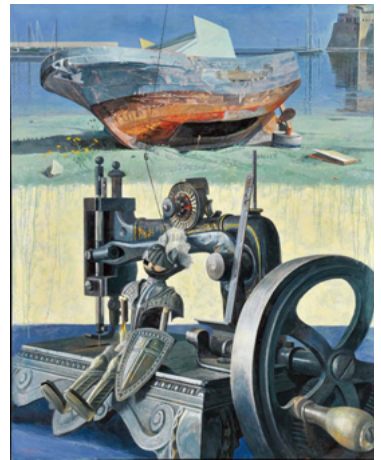
モノが生まれた時は役割を担っていた。刻が重なってくると、モノの使命も移り変わっていく。役割はいつしか消えうせ、モノ自体がもつ本来の形の美しさ、風化していく色の美がたち現れてくる。

夢の跡 … それは闘い終えた兵士が呆然と過ぎ去った刻を見つめる姿に、そこに本来そなわっていた美が醸し出されてくるのだった。

ミシンは巨大な廃墟と化し、陸に上がった廃船は未知の世界へ向けた希望の姿でもある。

中世のたたずまいを残したイタリアの風景と、アンティークな静物との融合。そこから甦っていく刻を感じて頂けたらと思う。

ギャラリーヒルゲート(京都)では、9回目の個展となる。150号の大作から小品まで油彩26点、水彩12点の合計38点出品。



「夢の跡」150号F  
2015年

### 日下部直起略歴

- 1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒
- 1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
- 1997年 二紀展 二紀賞('96優賞、'99同人優賞、'01宮本賞、'02損保ジャパン美術財団奨励賞、'05会員賞、'11会員優賞)
- 2000年 伊豆美術祭展 (IZUBI) 佳作賞('01佳作賞、'02佳作賞)
- 2004年 文化庁芸術家在外研修 (フィレンツェ)
- 2006年～10年 LIONCEAUX展 (日本橋三越本店)
- 2008年 Proposte dal Giappone 展 (ミラノ)
- 2009年 日下部直起洋画展～刻の言葉～ (日本橋三越本店)
- 2012年 日下部直起洋画展～静穏なる再生～ (日本橋三越本店)
- 2012年～14年、16年、17年 われらの地平線展 (日本橋三越本店)

2013年、2015年 La luce nel tempo三人展 (フィレンツェ)  
現在 二紀会委員

## 第24回書画まつり

と き／11月11日(土)～11月26日(日) 10:00AM～6:00PM  
ところ／ギャラリー鉄斎堂(会期中無休)  
京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164

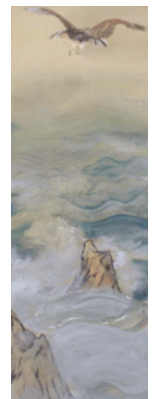
毎年恒例の書画まつりもお陰様で24回展を迎えることになりました。今回も新画・古画をはじめ諸道具などあわせて約1000点余りを一堂に展示即売させていただきます。沢山の中からお気に入りの作品と出会っていただけるものと思っております。この機会に是非ご来店くださいませ。

### 主な出品作家

古画より：伊藤若冲、円山応挙、長澤芦雪、酒井抱一、池大雅、与謝蕪村、白隠、慈雲、大徳寺もの、蓮月、ほか  
新画より：竹内栖鳳、上村松園、富岡鉄斎、橋本関雪、福田平八郎、小野竹喬、徳岡神泉、堂本印象、池田遙邨、秋野不矩、横山大観、川合玉堂、伊東深水、棟方志功、中川一政、ほか  
道具より：河井寛次郎、富本憲吉、八木一夫、永楽、蘇山ほか 茶道具、漆器、蒔絵碗など

\*書画まつり図録 3000円(税込)にて販売致します。(2冊組694点掲載、A4サイズ)

**同時開催** 無料鑑定会「三日鑑」開催 17日(金)・18日(土)・19日(日) pm1時～3時  
美術品の鑑定を無料で致します。この機会にお気軽にお持込下さい。



村上華岳  
《海上飛鷲》



伊藤若冲《人物図 双幅》



中川一政《椿》



二代田辺竹雲齋《花籠》



富岡鉄斎《二枚折屏風 片双》



## 三田村和男展

と き／11月13日(月)～11月19日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／村田画廊  
 京都市左京区松ヶ崎泉川町18-4 ☎075-703-8960

明るい色彩と動きのある線描によって  
 独自の抽象世界をつくる福井県越前市在住の画家、  
 三田村和男は特別なメッセージを絵に託すのではなく  
 形と色の組み合わせによって美しさを探っている。  
 グアッシュという絵具を混ぜ合わせ、好みの色に調整し  
 マスキングの技法を多用し色の塗り重ねはしない。  
 そのため、色に濁りが無く、シャープで力強い色面を  
 作りだしている。

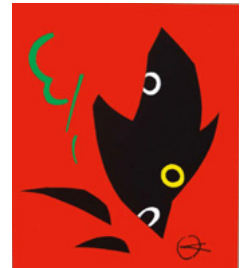
氏は「色彩の交響曲を奏でるような愉悦の空間を創造し、  
 心豊かにしてくれるような気持ちの良い作品を生み出したい」  
 と語るように、繊細な曲線や直線が画面に踊り  
 全体に絶妙なリズムを生み出している。

氏は高校卒業後、5年間の銀行員生活、そして西陣織の帯の図案家  
 を経て画家に。個展数は60回を超える。

1943年 福井県越前市(旧武生)生まれ



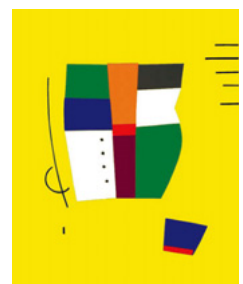
「なんと素敵な」



「まばゆい露」



「思い出のしずく」



「色のカンヅメ-4」

## 第59回京都色絵陶芸展

と き／11月17日(金)～11月23日(木) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都陶磁器会館(1F/2F)(木曜休館)

今年も本会館が色絵一色に染まります。毎年好評の「京都色絵陶芸展」を開催いたします。

1階会場は、審査により選ばれた作品展示と、人気の立命館茶道部による呈茶席を設けます。ここでは自分の好きな抹茶壺を選んで、その壺で抹茶をお召し上がりいただけます。2階会場は、「酒器」をテーマに各々が趣向を凝らした逸品が並びます。

ちょうど東山も錦に色付くころ、色絵の錦に包まれてはいかがでしょうか。

### 〈京都色絵陶芸協同組合の歩み〉

- 1945年 高度な色絵技術、幅広いデザインを要求される中、組合発足
  - 1958年 第1回上絵陶芸展を京都府ギャラリーにて開催
  - 1960年 この年より陶芸展をコンクール形式で開催  
技術、デザインを競い合い、レベルの向上を図る展覧会として今日まで継承されている
  - 1995年 組合創立50周年記念「上絵陶芸展」を京都府文化博物館にて開催  
これを機に技能者グループ・色絵デザイナーとして「京のやきもの色絵の創造展」を全国のデパートにて開催
  - 2011年 「京都色絵陶芸展」をこの年より京都陶磁器会館にて開催  
呈茶席や和菓子とのコラボなど、新しい趣向を凝らした取り組みを開始
  - 2015年 創立70周年を迎え、新たな色絵の世界を創造するべく、組合員一同研鑽をつんで今に至る
- 主催 一般財団法人京都陶磁器協会 京都色絵陶芸協同組合



## 森里龍生 陶展 ～染付とその先～

と き／11月25日(金)～12月6日(金) 10:00AM～6:00PM  
 京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

森里さんは染付の花と、奥深い色調の釉薬との調和が美しい器を制作されています。その作風に最近新たな技法が加わりました。それは撥水剤で釉薬をはじくことで文様を描く技法で、器の外側に施されるものです。描かれた文様は表面張力で立体的になり、その質感は、皮に漆を施す「印伝」に似た魅力があります。この技法は、染付とは関係の無いように思いますが、撥水剤で文様を描く工程には、染付で祥瑞を描いていた経験が活かしているそうです。

本展では、この新技法のシリーズをメインに食器・酒器・茶道具などを展覧いたします。魅力的なお仕事を、ぜひお手に取ってご覧くださいませ。

### 森里龍生 陶歴

- 1963 森里忠男(走泥社)の長男として生まれる。
- 1984 京都府立陶工専門学校 成形科修了
- 1985 専攻科修了  
日展会員 故加藤巖先生に師事 染付磁器を作陶
- 1993 龍絃窯を命名  
以降個展、グループ展を中心に活動
- 2003 土と石[+][-] 森里龍生展[個展]  
京都高島屋美術部 美術工芸サロン  
'06 '08 '11 '13年開催
- 2004 森里龍生作陶展  
ギャラリー杉・秋田
- 2007 染付 森里龍生展  
ぎやらりいおくむら・東京
- 2015 森里龍生作陶展  
京都高島屋美術部  
美術工芸サロン  
'17開催



「黒彩小紋椿水指」  
 「黒彩小紋椿抹茶壺」2017年

## 吉岡美樹子展

と き／11月14日(火)～11月19日(日) 11:30AM～6:30PM  
ところ／ギャラリー create洛  
京都市中京区丸太町通堀町角 ☎075-708-7898

日本画に行き詰まりを感じていたころ、偶然、實相展で齋藤真成師の講評を聴くことができた。まず、画面に一点を置く。企てを捨て、イメージを持たず、心のままに画面を創る。私は衝撃を受けた。導かれるように實相展のメンバーとなり、作品を発表する機会を得る。馴染みのある日本画の手法で、和紙と墨を使う。墨はにじみ、混ぜ物に反応し、粒子は集って不思議な模様となる。そして、画材に染料やグワッシュなどを加えて実験を繰り返す。まだまだ途中であるけれども、今回、ギャラリー Create洛さんより発表の機会を与えられ、それらの作品について多くの方々から感想を頂きたいと思っている。

吉岡三樹子

吉岡三樹子氏の作品には明るく自由奔放でいて、どこかに精神的な重さを感じる不思議な魅力がある。カラフルな色彩とひび割れの形状。画面からリズムが流れ、幅広い音域をもった音色を響かせている。

観る者の背景によってさまざまな楽しみ方が期待される作品です。作家のユニークな感性をご堪能ください。

ギャラリー create洛



e・g・g・o 0060

## 山本雄教展 —THE PEOPLE—

と き／11月23日(木)～12月2日(土) 10:00AM～6:00PM  
ところ／大雅堂／1F・2F展示室 (会期中無休)  
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388 F

手のひらにおさまる一円玉を広く敷きしめ、フロッタージュされた作品から浮かび上がる人々の生活、あるいは人そのもの、名画、自分自身…。山本の作品は見た人を引き付け、笑いを誘うこともあれば現代社会について考えさせることもあり、多方面に魅力を持っています。見落としてしまいがちな存在から、社会や世界への拡がりを見せる作品の数々を、大雅堂の展示場1階・2階に渡って大胆に展示します。この機会にぜひ高覧を下さいませ。

(展覧会に向けてのコメント)

ここ数年硬貨のフロッタージュによる作品を制作し、その中でも群像をモチーフにしたシリーズを最近作り始めました。そして群像のシリーズを作り始めたことで、これまでの私自身の作品の多くに、直接的にせよ間接的にせよ人々を表現するという側面があることを改めて意識することとなりました。

本展はタイトルを「THE PEOPLE」と題し、大雅堂の1Fと2Fを会場に、1Fでは今年制作した硬貨のフロッタージュのシリーズを、2Fにはこれまで制作してきた様々なシリーズの作品を、共に「人々」をテーマに展示します。新しい作品と過去の作品を、そこに至る変遷とともに楽しんでいただければ幸いです。

(日頃の制作のモチーフやコンセプト)

一粒の米、一円硬貨、ブルーシート、そんな日常生活の中で見落としてしまいがちな些細なものから、自分の暮らす社会や世界につながっていくような感覚を得られたら、それはまさに目の覚めるような出来事です。ミクロの世界が、様々な問題、疑問、不安、面白さ、希望を含んだマクロなものに変わっていく、そんな体験をすることができる作品を生み出したいと思い制作しています。

【山本雄教 略歴】

- 1988 京都府出身
- 2010 成安造形大学 日本画クラス 卒業
- 2013 京都造形芸術大学大学院修士課程ペインティング領域 修了
- 2016 「Fake blues」(+Iart/大阪)  
「山本雄教作品展」(松坂屋静岡店美術画廊)
- 2017 「ストリートブルーマウンテン」/STREET GALLERY = ¥18560  
(STREET GALLERY/兵庫)  
「見立てと反復」(ギャラリー和田/東京)  
「×××円の人」(ギャラリー恵風/京都)  
「山本雄教展」(渋谷東急本店8階美術画廊/東京)

【受賞】

- 2012 「ART AWARD NEXT2012 Vol.2」審査員賞 (東美アートミュージアム/東京)
- 2013 「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」公募部門大賞 (京都文化博物館)  
「美術新人賞デビュー 2013」準グランプリ (ギャラリー和田・フジキ画廊/東京)
- 2014 「TERRADA ART AWARD」優秀賞 (T-Art Gallery/東京)
- 2017 「第7回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展」審査員推奨 (豊橋市美術博物館/愛知)



「15480円の人々」172.0×360.0cm



「6144円の人々」130.0×192.0cm



～江戸の美を感じて～

## 春画で見る浮世絵の魅力 その弐

と き／11月～12月の10日間 完全予約制 ※あらかじめご予約ください。  
ところ／ギャラリー三條祇園 ☎075-221-6401  
京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前484 トミタヤビル2F

昨年、好評を頂いた春画展の、第二回展を開催いたします。前回に続き本展も当画廊のコレクションの中から厳選した作品をご覧いただきます。

江戸時代中期に活躍した初期浮世絵師 菱川師宣 (1618-1694) の手彩色が施された木版春画本を中心に岩佐勝重 (1613-1673) 作とされる絵巻物9図全図を公開いたします。他には、江戸初期～中期頃の絵師たちにより描かれた肉筆春画や北斎、歌麿による版画本などを出品いたします。昨年と同様、当社学芸員とともに作品を間近に、できるだけ全図をご覧になっていただけるよう企画しております。

春画の持つ美を愉しんでいただければ幸いです。また、今回も、ゆっくりとご覧いただけるよう、加えて作品保護の点からも、予約の方のみがご来場いただく、完全予約制の形式をとらせていただきます。

11月：17日(金)、18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)、24日(金)、25日(土)、26日(日)

12月：1日(金)、2日(土)、3日(日)

時間：①12：00～ ②13：30～ ③15：00～ ④16：30～ (一日4回・各回8名くらいまで)

完全予約制 (定員各回8名くらいまで)

※予約受付開始日：2017年10月2日より

※来廊3日前までに、下記の事項を入力の上メールにてご予約ください。

- ①希望日・時間・人数
- ②お客様名
- ③電話番号 (当日連絡のとれる番号でお願いします)
- ④メールアドレス
- ⑤ご住所

メール：sg-sanjyo@sanjyogion.co.jp

ご予約いたしましたお客様には、ご予約完了メールを送信いたします。

御来廊日にプリントアウトしたものか、メール画面をご提示ください。

※18歳未満のご入場はお断りさせていただきます。

※写真等の撮影はお断りさせていただきます。

※他のお客様のご迷惑となる行為、作品にダメージを与える行為と判断した場合、退出していただくことがあります。

※当画廊はエレベーター、エスカレーターのない昭和のレトロビルの2Fにあります。あらかじめご了承くださいませ。

◆入場料：500円 (お茶代として)



## [新入会画廊紹介]

### アートギャラリー 鵬休堂 Art Gallery Hokyudo

所在地：〒605-0864 京都市東山区遊行前町558-11  
(東大路五条上ル西入 五条坂バス停25m)

TEL：075-541-3805 FAX：075-541-5688

URL：www.hokyudo.kyoto.jp

E-mail：hasehaseart@yahoo.co.jp

代表者名：長谷川義樹

画廊区分：貸／企画画廊

定休日：不定休

貸画廊料金：120,000/週



営業時間：11：00AM～6：00PM

1965年創業以来、新古美術の日本画、掛軸をはじめ工芸全般を取り扱い、百貨店での企画催事を運営してきた美術画廊 長谷川アートが創業50年の節目に開廊した自社のギャラリースペースです。

京都東山区の多くの観光客や訪日外国人が行き交う世界的な観光地の中心にあり、五条坂バス停から25mの直近でアクセスがよく多くのお客様の来廊を得ております。当ギャラリーでは、平面作品の展示だけでなく工芸作品の展示のため全壁面に棚柱を埋め込み、自由にレイアウトできる可動棚の設置によって目線の高さで工芸作品をご鑑賞いただけます。スポットライトには、ノーベル賞を受賞した中村修二教授がアメリカで共同創業したSORAA社製の太陽光スペクトルに近い演光性の高いLEDを採用しています。またギャラリースペースに併設して飲食店営業許可を取得した厨房スペースがあり、オープニングセレモニーをはじめ企画内容と連動したスイーツや喫茶、飲食などの提供も可能です。

当ギャラリースペースは展覧会だけでなく、若い作家志望者や美大生が専門美術家になるための必要知識を学ぶ勉強会「アートマネジメント講座」も開いています。

また京都の日本画の源流である円山四條派の運筆技法を現在も継承している数少ない京都の絵師 (日本画家) たちと共にこの消えゆく無形文化の保存と次世代への継承が可能なのかという「日本画運筆技術保存」を喫緊の課題としております。

皆様のお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

11月企画展「うつわ男子」10月31日～11月30日 月曜休み (27日営業)



うつわ男子は、ものをつくる喜びを共有し自由な造形を志す京焼、清水焼の陶芸家集団であります。様々な要因で日々変化していく現代社会の中で、今一度、世間に「うつわ」の魅力を様々なアプローチから伝え、惹きつける必要があるのではないかと考えております。時代に即し、新たな観点から「不易流行」を念頭に制作活動と広報活動を目的としながらも京都の文化発展に少しでも貢献したいという思いで、今回の展示を企画いたしました。

出品作家 猪飼祐一・井上路久・小川宣之・河井亮輝・川尻潤・清水大介

高木竜太・竹村陽太郎・谷口良孝・中村讓司・森里龍生・山内駿 (4期週割展示)

会場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	12/1金
企	画廊後素堂 中央区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																															
企	画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																															
企	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	洋服とアクセサリ 廣瀬光美 (不定休)														手しごと展 (牛革を使った革製品等) 馬場友恵				表現画房たけ 「たけの世界展」 川村武明										→12/3			
企	ギャラリー梧桐 左京区岡崎南御所町40 752-2058	夾纈染小作品展				夢展 (絵画) 橘さくら (月曜休廊)																											
企	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979																																
企	ギャラリーカト 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F	月耀会展				楽・らく展				昭和美術会選抜展				石田益三個展				AIUアート展				→12/3										
企	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	2F	山下尚三展				合田豊雅展								京都造形芸術大学 通信日本画瓜生会小作品展				大王会とその仲間 たちによる小作品展				→12/3										
企	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	水墨画 四人展				日本画風 紙画展				第9回 むねの会展														清水光美 アクリル・水彩画教室展				風と森の風景展				→12/3	
企	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	グループ万華鏡 第7回展				平岡康次 写真展				吉象堂漆展 「漆で京都巡」				第19回丸池'69展				鴻楽会展				→12/3											
企	ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	五島綾子展 (洋画)				古谷かずこ展 (洋画)				吉村三樹子展 (洋画)				浅田照展 -ひとのかたち- (洋画)				渡辺章雄作品展 -風景について- (日本画)				→12/10											
企	Gallery G-77 小川通丸太町下ル 090-9419-2326	名前のない色 The UNNANED COLOR (日月休廊)																															
企	ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518	~絵のある生活~ 絵画コレクション展																															
企	ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F	「柔らかい石」 出原司・清水美三子・ 生島順理・岩淵華林・ 鈴木智恵				井上健 (漆芸) (月曜休)				茂苺希美展 (平面) (月曜休)														→12/3								
企		2F					下條華子展 (漆芸) (月曜休)				門川昭子展 (平面) (月曜休)														→12/3								
企	ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767					第5回 日本版画院展								片山雅美陶展				二宮				→12/3											
企	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	~江戸の美を感じて~ 春画で見る浮世絵の魅力 その式 (完全予約制)																															
企	ぎやらりい思文閣 東山区古門前大和大路東入 761-0001																																
企	ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616	玉本奈々新作展 (月曜休日)																															
企	ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	中村育子 和紙ちぎり絵展				外村茂一絵画展 「にじいろの世界から」 (油彩・水彩他)				安馬 京てまり教室習作展				アトリエSIX ステンドグラス展 (藍・愛・逢)				黒田さかえ作品展 (油彩・水彩他)				→12/3											
企	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入ル 751-9238	鷹木朗展 (絵画) (月曜休廊)				山本真美江展 「ものがたりの断片」(陶芸)				加藤穂月展 (平面) (月曜休廊)														→12/2									
企	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展 伊藤若冲・白隠慧鶴・円山応挙・鴨井玲・熊谷守一 他																															
企	ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738	貸画廊受付中																															
企	ギャラリーLittle House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	凧アトリエ展				雪月花 和のこころ3人展				衣笠泰介展				こつぶ展 (ゆう工房)				3人展 (川村・岡本・橋本)				→12/3											
企	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展 (6・9・28・29・30日休廊)				第24回書画まつり (17・18・19日は無料鑑定会)																											
企	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632									吉田淳一展 (洋画) (月曜休廊)														→12/10									
企	ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	三人展 淡水葉 (芥川清・けいこ) +酒井ひさお				野村昌司 「風画」展				「Belle Forme Shadow Box展Ⅲ」 Hiokume Hawaii Collection				山元麻衣展				いろどり展				→12/3											
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子ガラス作品展																															
企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	日下部直起展 -夢の跡- (油彩・テンペラ)				三橋卓個展 (日本画)				中原史雄先生企画 それぞれの絵展				蛭田均展 (新作)				北村美佳展 (二科会員)				→12/3										
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																															
企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	塔南高校OB (美術)				西純一 (平面)				宮内真美 (平面・油彩)				村松英俊 (立体)				宇野淳 (陶芸)				→12/3										
企		4F	村田高久 (平面)				「IchiE」グループ展 (6人) (平面)				吉田佐和子 (リトグラフ)				U・S・E10								→12/3										
企		5F	高見晴恵 (インスタレーション)				高見晴恵 (インスタレーション)				陶画塾								久世健二 (陶芸)				→12/3										

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

【画廊連合会会員の方へ】 毎月のスケジュール表のファクス送信先 (京都文化博物館企画事業担当) のFAX番号が変更されています。新たなFAX番号は 075-330-6894 です。

会場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	12/1金		
貸	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997									布花とシャドーボックス展 (村山美佐枝)								井上淑子 日本画展					花夢展	豊旗会 (貴金属)										山根須磨子 日本画教室展	→12/3
企	貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	日々のイロ・カタチ・ ソライ 寄神盛衛展							陣七海 ~世界で唯ひとつの帯地バッグ展~								三人展 仲恵子(油彩・鉛筆) 生島磨子 (アクリル画) 首藤成利(木彫り)					高木唯可	水彩画展		休廊							永守紋子 漆展	→12/10	
企	貸	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	常設展示																																
企	貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬追悼展 (水曜休廊 1・15日は開廊 龍馬祭は10:30~11:00)										酢原 龍馬 祭	龍馬追悼展(水曜休廊)																					
企	貸	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休廊	常設展		休廊					小山智徳 織部展 (水曜休廊)													休廊									常設展 (水曜休廊)		
企	貸	ギャラリー一宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	山中現個展 絵本『ついでいったちようちよう』原画ほか 13:00~19:00(月曜休)																																
企	貸	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	秋の茶道具・絵画工芸品処分市 & アンティークマイセンカップ&ソーサー展 (6・13・20・27日休廊)																																
貸	1号館	1F	高友会日本画展								第5回 グループパルプ展							日洋会京滋支部展						科の会 木版画展									二人展 藤井嘉男・石野俊夫	→12/3	
貸	2号館	2F	池村もこ刺子 教室展								竹内淳子 オープンアトリエ作品展							第8回優遊展						写真展 楽しい散歩写真 ~野・山・町へでかけよう!								グループコス モス洋画展	→12/3		
貸	1号館	1F	石と白砂の 伝統芸術 細川流盆石展								KOKU・ITTEN II							千代田利行 水彩画展						日本水彩 京都支部小品展								染描会展 (色えんぴつ画)	→12/3		
貸	2号館	2F									かもしか会 日本画展							竹笹堂木版画 教室展															吉川泰史水彩画展 喜寿記念展	→12/3	
企	貸	現代美術 艸居 東山区門前大和太路東入 746-4456	木野智史・奈良祐希 二人展																																
企	貸	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																
企	貸	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 253-1509	「アリン・ルンジャン 『モンクット』 (月曜休廊)」																									休廊	京都市立 芸術大学 第28回 留学生展	→12/10					

会場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	12/1金		
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000																																		
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	企画展「学校と博物学」(水曜休廊)																																	
貸	企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	清永安雄 《Raw Hawaii》								西田茂雄塾 《木偶(てこ)の面魂》							大川正宏 《よさこいの世界》															吉田信介 《dialog》	→12/10	
貸	企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	わん・碗・ONE ~次代を担う若者の作品展~(木曜休廊)																第59回京都市色絵陶芸展 (23日開館)	休 館					森里龍生 陶展~染付とその先~ (木曜休廊)								市岡和憲 陶展~喫茶道具に出会う~ (木曜休廊)	→12/6	
貸	企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902									こども万華鏡大賞公募 展							第2回 「小さな粘土の会」作品展																第5回 市川克一 四季の遊楽展	→12/3
貸	企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	かしの木の実 かしの木学園 アート活動展							奥倉玲 絵画展								鄭 琪滿 作陶展						伊藤五美 陶展									アクリル・ジャンクル 藤本悟	→12/3	
貸	企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																
企	貸	しむらのおうち 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	アトリエシムラの新作「着物・小物・小裂の額装・帯」の展示販売																																
企	貸	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232											松井ヨシアキ展 (会期中無休)																			常設展 (23・26日休廊)			
企	貸	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展																									e.g.g.o 0060 山本雄教展-THE PEOPLE	→12/2						
企	貸	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																																
企	貸	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	歩々の会展															小嶋直子 ビスクドール展																明星いっぺいクレイアートと墨彩画展	→12/3
企	貸	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和 名作発掘品展(日・月休廊)																																
企	貸	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新・古書画常設展																																
企	貸	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火・祝休日休廊)										三田村和男展 (会期中無休)																			常設展 (火・祝休日休廊)			
貸	企	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341											ルツボの中の五人 (写真・インスタレーション)	貸ギャラリー受付中																					

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895)  
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
<http://www.kyoto-art.net/>